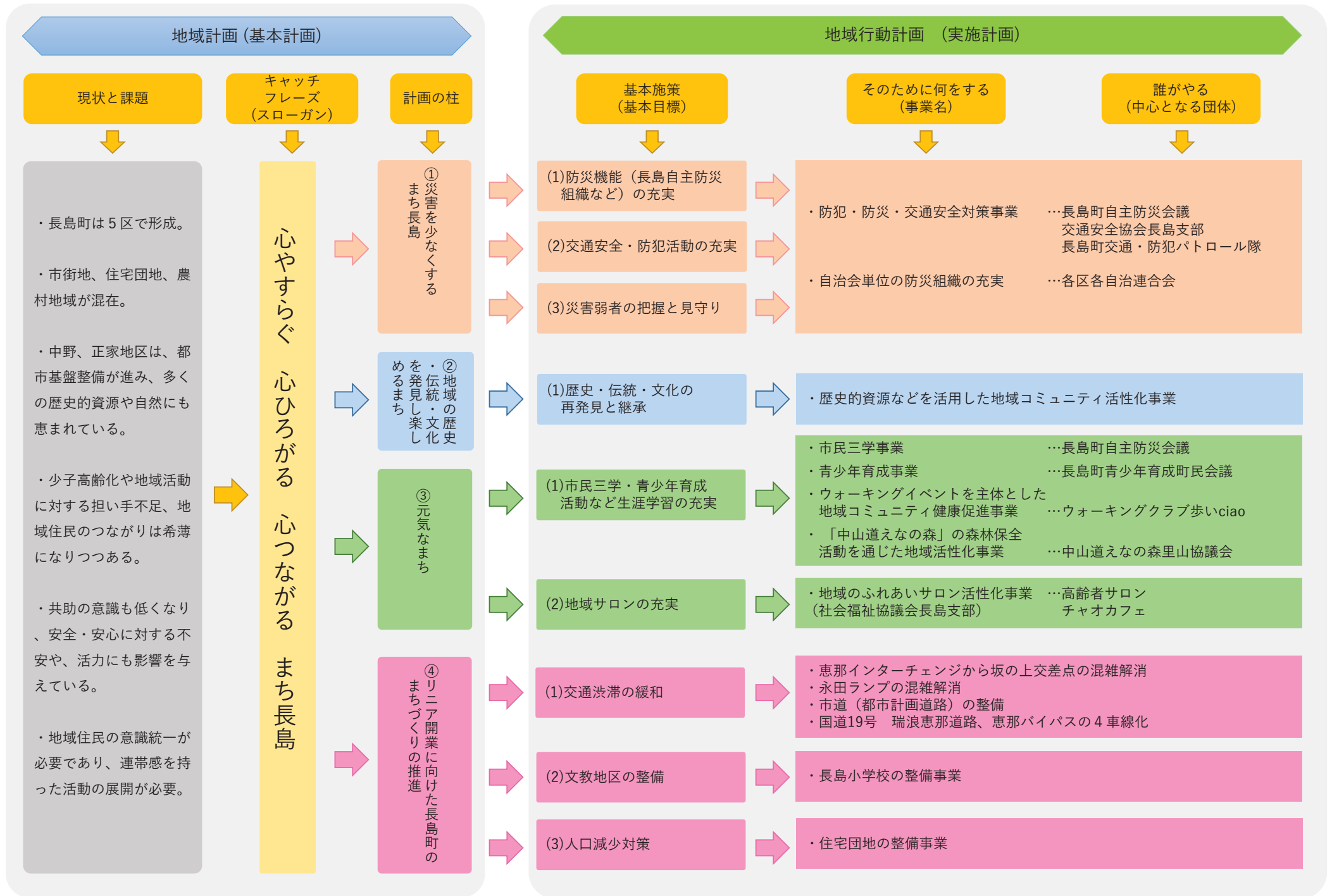


長島地域自治区 地域計画・地域行動計画 体系図



第2次恵那市地域計画

長島地域自治区

【キャッチフレーズ】

心やすらぐ 心ひろがる 心つながる まち長島

【地域の現状】

長島町は、中野、正家、永田、久須見、大洞南の5区で構成され、市街地、住宅団地、農村地域など多様な地域が混在しています。本市の中心市街地でもある中野・正家地区は、土地区画整理や都市計画道路などの都市基盤整備が進み、ショッピングセンターや飲食店が多く、買い物や道路アクセスなどの環境が整いつつあります。地域内には、中山道や西行に関する遺跡、正家廃寺跡、多くの古墳群など歴史的な資源や恵まれた自然も豊富に存在しています。

しかしながら、少子高齢化や地域活動に対する担い手不足、社会環境の変化や住民意識の変化などにより、地域住民の地縁的なつながりは徐々に希薄になってきています。災害時などに対する共助の意識についても低くなってきているため、地域の安全・安心に対する不安や、地域全体の活力についても影響を与えています。こうした長島町の様々な問題に向き合い、発展的なまちづくりを進めていくには、地域住民の意識統一が必要であり、連帯感を持った活動の展開が必要となります。

【目指すべき地域の姿(地域の全体構想)】

人口減少・少子高齢社会の到来に加え、社会のさまざまな環境変化や住民意識の変化などにより、従来から形成されてきた地域のコミュニティは徐々に低下してきています。住民同士のつながりやまとまりを育んでいくことは、これからの地域住民の生活や長島町の活性化を進めていく上ではとても重要なことであり、私たち住民一人ひとりが、長島の風土や歴史・伝統・文化が育んだ暮らしを今一度見つめ直し、「物の豊かさ」だけでなく、「心の豊かさ」や「人と人とのつながり」といった価値観を重視していけるような地域社会を創っていくことが必要であります。子どもからお年寄りまで「長島に住んで良かった」「長島に住み続けたい」と思えるように、住民にやさしく、地域の個性を大切にしながら、住民参画によるまちづくりを基本とし、地域住民や地域の各種団体などがお互いに協力し合い、共に学習し、地域の魅力を再認識することにより、住民相互の連帯感や地域力の向上を図りながら、地域課題の解決などに努め、すべての住民が安心して楽しく元気で暮らせる長島町を目指していきます。また、地域計画の目標のもと、地域住民を主体としたまちづくり活動を継続・発展させていくために、地域住民が理解していける環境をつくり上げていきます。

【計画の柱(基本目標)】

共助（たすけあい）のまち長島

1. 災害を少なくするまち

子どもからお年寄りまで安全で安心して暮らせるまちとなるよう、地域住民がお互いに協力し、多様な災害などに対応するための取り組みを行っていきます。

2. 地域の歴史・伝統・文化を発見し楽しむまち

町内に存在する歴史的資源などを活用し、地域住民のつながりがより一層深まり、後世へ伝承できるような取り組みを行っていきます。

3. 元気なまち

少子高齢社会を担う人づくりを行うため、生涯学習に取り組んでいきます。また、みんなが楽しく元気に暮らせるよう、地域コミュニケーションの場作りにも取り組んでいきます。

4. リニア開通に向けた長島のまちづくりの推進

2027年開通予定のリニア中央新幹線の整備に合わせ、長島町内の交通渋滞の緩和や文教地区の整備を進めていきます。

【基本施策】

計画の柱1：災害を少なくするまち

(1) 防災機能（長島自主防災組織など）の充実

住民相互の助け合いによる防災機能は、住民意識の変化などにより低下してきています。そのため、災害発生時の初期的対応や平常時の防災に対する住民意識の向上を図るため、各自治連合会及び各区と共に自治会単位の防災組織の充実を図ります。

(2) 交通安全・防犯活動の充実

地域住民がより安心した暮らしが出来るよう、交通事故抑止、振り込め詐欺をはじめとした特殊詐欺や軽犯罪などの抑止を行うため、交通安全活動や防犯活動の充実を図ります。

(3) 災害弱者の把握と見守り

高齢者や障がい者などの災害時要援護者が、地域で安心して安全に暮らせ、災害発生時における関係機関への情報伝達などが迅速に行えるよう、地域住民の助け合いである共助の活動の充実を図ります。

計画の柱2：地域の歴史・伝統・文化を発見し楽しめるまち

(1) 歴史・伝統・文化の再発見と継承

地域のつながりをより一層深めるため、歴史・伝統・文化・お祭りなどを有効に活用したまちづくりを進めると共に、情報の発信やすばらしい歴史的な地域資源として、後世へ継承していくための学習機会などの充実を図ります。

計画の柱3：元気なまち

(1) 市民三学・青少年育成活動など生涯学習の充実

活力に満ちた豊かで住みやすいまちづくりを行うため、人づくりを重視した活動を行い、市民三学活動や青少年育成活動などを中心とした生涯学習の充実を図り、地域の活性化や人づくりの循環につながるよう取り組んでいきます。

(2) 地域サロンなどの充実

元気で楽しく暮らせ、子育てがしやすく、いつまでも安心して暮らせるまちとなるよう、地域で支えあう地域サロンの充実や地域住民のコミュニケーションづくりの場として各種イベントなどの充実を図ります。

計画の柱4：リニア開通に向けた長島のまちづくりの推進

(1) 交通渋滞の緩和

恵那市リニアまちづくり基盤整備計画による道路網の計画を行政と一緒に進めていきます。

(2) 文教地区の整備

長島小学校の老朽化に伴う再整備を進めていきます。

(3) 人口減少対策

少子高齢化による人口減少を少しでも食い止めるため、住宅団地の整備を進めていきます。

【地域間連携での取り組み】

連携する地域	計画の柱（基本目標）及び施策の項目
<ul style="list-style-type: none"> ☆大井町 ☆長島町 	柱1：安心安全で快適に暮らせるまち （2）災害時に助け合える協力体制の強化 柱1：災害を少なくするまち （1）防災機能（長島自主防災組織など）の充実
取り組み内容	
◎災害を見据えた連携強化 阿木川より西側にある地区の大井町民は、災害時には長島町に避難される方もあります。また、恵那駅周辺は両地域をはじめとした、多くの方の交流拠点となっている地区のため、災害時には帰宅困難者の受け入れを両地域で行わなければなりません。両地域が連携を取る事により、防災力の強化が図れます。	

連携する地域	計画の柱（基本目標）及び施策の項目
<ul style="list-style-type: none"> ☆大井町 ☆長島町 	柱1：安心安全で快適に暮らせるまち （1）防犯防災活動の充実 柱2：災害を少なくするまち （2）交通安全・防災活動の充実
取り組み内容	
◎防犯力の向上 国道19号をはじめとした交通インフラは、両地域の重要な地域資源であります。反面、犯罪時には人口密集地から瞬く間に有用な逃亡経路へと変貌します。それぞれの地域での防犯活動では限られていた事が、両地域で連携を取る事により、防犯力の向上が見込めます。	

連携する地域	計画の柱（基本目標）及び施策の項目
<ul style="list-style-type: none"> ☆大井町 ☆長島町 	柱2：歴史文化と自然が調和した元気なまち （1）中山道から恵那峡までの地域資源の活用 柱2：地域の歴史・伝統・文化を発見し楽しめるまち （1）歴史・伝統・文化の再発見と継承
取り組み内容	
◎地域の魅力発信 両地域の共通な歴史文化として「中山道」があります。中山道の持つ役割は両地域で異なりますが、それぞれの良い所を融合する事により、非常に魅力ある地域資源へと変貌します。両地域が連携し、地域内外に発信する事により、賑わいのあるまちづくりが見込めます。	